

名古屋の港まちを舞台にした音楽とアートのフェスティバル Assem bridge NAGOYA 2016 を開催します！



まちで出会う、音楽とアート。名古屋の港まちと世界がつながる。

「アッセンブリッジ・ナゴヤ」は、名古屋の港まちを舞台にした、音楽とアートのフェスティバル。

コンサートホールや美術館ではなく、いつもの「まち」が会場となり、世界的なクラシック音楽や現代アートの数々が人々や風景とまざり合います。

[アッセンブリッジ Assembridge]は、「集める」「組み立てる」などの意味をもつ [アッセンブル Assemble]と、[ブリッジ Bridge]を組み合わせた新しい言葉です。



期 間

2016.9.22 [木・祝] - 10.23 [日]

- MUSIC 2016.9.22 [木・祝] - 9.25 [日]
- ART 2016.9.22 [木・祝] - 10.23 [日]

休館日：9.26(月)、10.3(月)、10.11(火)、10.17(月)

*名古屋港ポートビル展望室は10.17(月)のみ休館

会 場

名古屋市営地下鉄名港線
名古屋港駅～築地口駅エリア一帯

港まちへのアクセス

- 名古屋駅から約25分
市営地下鉄東山線「栄」駅乗り換え。
市営地下鉄名城線「名古屋港」行き、「築地口」駅、「名古屋港」駅(終点)下車。
- 金山駅から約10分
市営地下鉄名港線「名古屋港」行き、「築地口」駅、「名古屋港」駅(終点)下車。

主 催

アッセンブリッジ・ナゴヤ 実行委員会

構成団体：名古屋市(観光文化交流局文化振興室)、港まちづくり協議会、名古屋港管理組合、(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団、(公財)名古屋市文化振事業団

企画体制：音楽 | ディレクター 中村ゆかり アート | ディレクター 服部浩之

アートプログラムディレクター | Minatomachi Art Table [MAT, Nagoya] (吉田有里、青田真也、野田智子)

アーキテクト | 米澤隆 デザイン | 中西要介、溝田尚子 ウェブデザイン | 石垣嘉洋

アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会事務局 吉田、古橋、江坂、渡邊

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23 港まちポットラックビル

TEL 052-654-7039 FAX 052-654-8912 (受付 | 10:00-19:00)

E-MAIL contact@assembridge.nagoya www.assembridge.nagoya

イベントの見どころ

MUSIC 音楽

※入場無料公演及びサポーター(有料)限定公演があります。

つどいの広場特設ステージ

《水の劇場〈ヴァッサービューネ〉》での野外コンサート

今年創立50周年を迎えた名古屋フィルハーモニー交響楽団、ジャン=マルク・ルイサダ他、著名なアーティストによる野外コンサートを行います。

一流のクラシック音楽を、まちの中で

総勢200名のアーティストが集結し、名古屋港ポートハウス、名古屋港ポートビル、名古屋港水族館、港橋広場公園、港まちポットラックビル、飲食店などでクラシック音楽コンサートを開催し、港まちエリアが音楽に包まれます。

ART アート

港まちの資源を活用したサイトスペシフィックな現代アートの展覧会

港まちをひとつの庭に見立て、作庭するようにまちにアーティストや作品が入り込んでいきます。アーティストが港まちに滞在・リサーチし、港まちを舞台に新たに制作された作品を中心に、空き家を改修したスペース、名古屋港ポートビル展望室など、港まちの特徴ある空間を展示室に変容させて、現代アートを展示します。

ワークショップやトークなどのイベント

まちを舞台にした交流プログラムやイベントを開催します。

地域とアートの関係性を考えるトークシリーズ「地域美学スタディ」や、アーティストによるギャラリートーク、ワークショップなど、参加型のイベントを行います。

地域と連携したプロジェクト

① ハーバーロッジなごや「アートホテルプロジェクト」

会期中、名古屋港駅近くの船員宿泊所「ハーバーロッジなごや」内で、アートを鑑賞しながら宿泊できる特別ルームをご用意します。

② 「港まちガーデンプロジェクト」ハーブガーデン

2012年から継続している「土づくりから始めるまちづくり」のガーデンプロジェクト参加者とともに、旧・名古屋税関港寮の敷地を利用して、ハーブガーデンの作庭が進行しています。

③ 「空き家再生スクール」とコミュニティスペースの提供

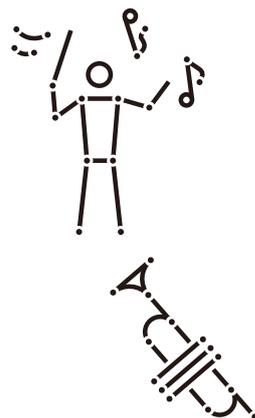
約20年ほど空き家となっていた旧・潮寿司を大工が講師となり、参加者とワークショップ形式で改修を行っています。会期中、生まれ変わった空間でアーティストユニットのL PACKが、人びとが集い飲食のできるカフェスペースとして《コーヒーのある風景》を展開します。

MUSIC

ピクニックに出かけるように、港まちで音楽を。
港まちに、総勢200名の奏者が集結!

一流のクラシック音楽を、まちの中で。日頃はコンサートホールで演奏されることの多いクラシック音楽が、名古屋の港まちへ飛び出します。

海の見えるガーデンふ頭には、港まちと世界をつなぐキーワード「水」の名を冠した特設ステージ《水の劇場〈ヴァッサービューネ Wasser Bühne〉》を設置し、名古屋フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラ特別コンサートなど、祝祭的な野外公演を開催します。まちの匂いや風を感じ、くつろぎながら、一流の音楽を楽しむ。2016年、港まちが音楽に包まれる新たな感動を体験いただけます。キッズプログラムも多数ご用意しておりますので、ご家族でお楽しみください。



日 時

2016.9.22 (木・祝) - 9.25 (日)

プログラム、会場によって開演時間が異なります。詳細はWEBサイトでご確認ください。

会 場

つどいの広場特設会場 水の劇場〈ヴァッサービューネ〉、名古屋港ポートビル、ポートハウス
港橋広場公園、名古屋港水族館、港まちポットラックビル、港まちの喫茶店、居酒屋ほか、名古屋港エリア内

出 演 者

名古屋フィルハーモニー交響楽団、ジャン=マルク・ルイサダ、ミシェル・ペロフ、円光寺雅彦、なぎさプラスソリスデン、三浦一馬、村治奏一、中部フィルハーモニー交響楽団、セントラル交響楽団、茂木大輔、大宮臨太郎、島田真千子、宮坂拓志、朴葵姫、赤坂智子、高橋礼恵、辻本怜、山根一仁、今峰由香、岩崎洵奈、名古屋ダブルリードアンサンブル、名古屋アカデミックウインズ、愛知室内オーケストラ、Arion Saxophone Quartet、弦楽アンサンブルフルール、Nuovo anno、La la quart、Fleurs、トリオ de ブランチ、Trio Reson、ISSAKU & SACCO、加藤恵利子、佐藤光、佐野巧枝、安田祥子、吉田絵奈、KASH、他総勢200名の出演者

企 画

中村ゆかり

サポーター席

入場無料、但しヴァッサービューネでは一部サポーター席(有料)、ポートハウスの公演ではアッセンブリッジサポーター限定公演があります。

●チケット取り扱い 8月10日(水)よりチケットぴあにて発売
チケットぴあ

「Assembridge NAGOYA 2016」Pコード:307-227 TEL:0570-02-9999

※チケットぴあ公式ホームページ(<http://t.pia.jp/>)またはサークルサンクス、セブンイレブンでも直接お買い求めいただけます。チケットぴあでは手数料が必要となります。

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。プログラム、サポーター席(有料)などについてはWEBサイトでご覧ください。



名古屋フィルハーモニー交響楽団、ジャン=マルク・ルイサダ、ミシェル・ペロフ

現代美術展

パノラマ庭園 - 動的生態系にしるす -

「パノラマ庭園 - 動的生態系にしるす」では、名古屋港界隈をひとつの「庭」に見立て、作庭するように、まちにアーティストや作品が入り込んでいきます。「庭」とは人が長い時間をかけて創造した自然環境と関わる方法であり、つくり手の世界観があらわれるひとつの小宇宙とも言えるでしょう。「庭」は人が丹念に手を加えることで、新たな姿へと変容していきます。「まち」も庭と同様に、人が関わり対話を重ね続けることで、新たな「まち」へと日々変化していきます。常に動き続ける「まち」の様相をひとつの生態系と捉え、アーティストや作品が、鳥のようにまちを眺め種子を運び、虫のようにまちのすき間に入り込み、その生態系に何かのきっかけを残すことを試みます。

本展では、このエリアを舞台に新たに制作された作品の展示を中心に、ワークショップやトークなどのイベントを開催します。庭園を散策するように展覧会をお楽しみください。

日 時

2016.9.22(木・祝) - 10.23(日)

休館日 | 9.26(月)、10.3(月)、10.11(火)、10.17(月)
*名古屋港ポートビル展望室は10.17(月)のみ休館

11:00 - 19:00 *名古屋港ポートビル展望室は9:30-17:00

会 場

港まちポットラックビル、旧・名古屋税関港寮、名古屋港ポートビル、
ボタンギャラリー、旧・潮寿司ほか、名古屋港エリア内

アーティスト

碓井ゆい/臼井良平/L PACK/遠藤俊治/オル太/城戸 保/
クリス・チョン・チャン・フィ/コラクル+渡辺英司/ゴードン・マッタ=クラーク/
下道基行/鈴木悠哉/玉山拓郎/徳重道朗/トラベルムジカ/中尾美園/
ヒスロム/山本聖子

企 画

服部浩之

Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]
(吉田有里、青田真也、野田智子)

パスポート

700円(あいちトリエンナーレ2016のチケット提示の方は600円)

*パスポートには、名古屋港ポートビル展望室入場券が含まれます。
*中学生以下は無料(ただし名古屋港ポートビル展望室は除く)
*パスポートは、ご本人に限り会期中何度でも入場可。(ただし名古屋港ポートビル展望室は1回のみ)
*会期中、港まちポットラックビル[アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内]で購入いただけます。

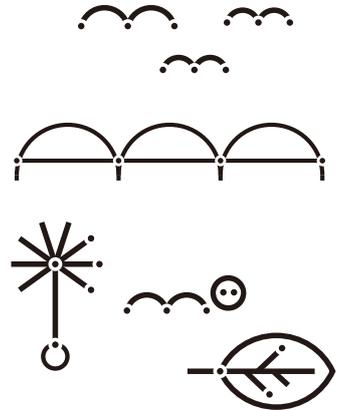
Minatomachi
Art
Table,
Nagoya

MAT.
Nagoya

Minatomachi Art Table, Nagoya
[MAT, Nagoya] とは

港まちをフィールドにしたアートプログラム。このエリアで活動する「港まち
づくり協議会」が母体となり『港まちポットラックビル』を拠点に、現代美術
展やスクール、空き家活用などの活動を展開している。
www.mat-nagoya.jp

A bird's eye view



A bug's eye view



城戸保《際の風景》2016



玉山拓郎《We different to cross the river,
and we cross different rivers.》2016
撮影:Hako Hosokawa



鈴木悠哉《city language》2016



L PACK《コーヒーのある風景》2016
アッセンブリッジ・ナゴヤイベントの様子
撮影:怡土鉄夫



トラベルムジカ《ニシヘヒガシへ! 漂流する
メロディーワークショップ in みなとまち》2016
アッセンブリッジ・ナゴヤイベントの様子

広報用画像の使用について

本プレスリリース内の画像を掲載する場合は、下記へお問い合わせください。
※写真に添付しているキャプション・クレジット等を正確に表記してください。

contact@assemblebridge.nagoya www.assemblebridge.nagoya(プレス窓口)